

コーンズ テクノロジー株式会社

2017年5月

ワークショップ開催のご案内

Biosensing Instrument社

SPR顕微鏡ワークショップ

【実施会場・日付】

5月15日（月）大阪会場【大阪大学 豊中キャンパス内】

5月19日（金）東京会場【コーンズテクノロジー(株)本社】

※参加者数等により実施会場が変更となる可能性があります。予めご了承ください。

開催概要

◆ SPR顕微鏡の紹介 13:00 - 14:00

演者：Nguyen (Win) Ly

Biosensing Instrument社 研究開発担当

PhD, Biosensors and Electrical Engineering, ASU

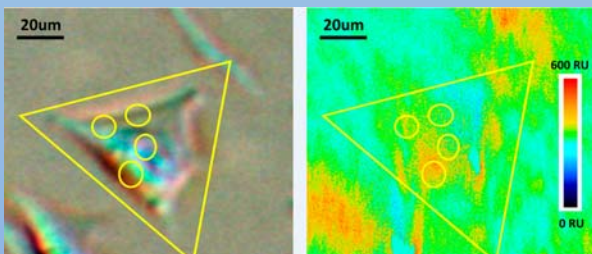
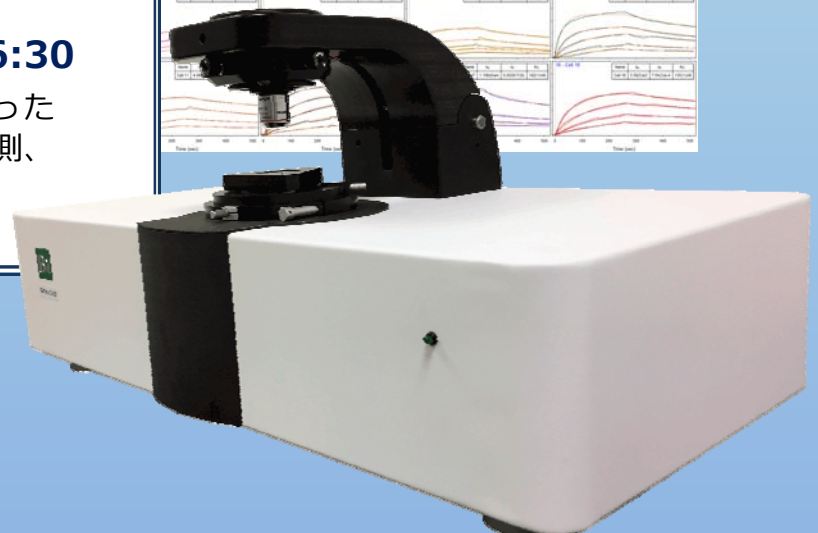
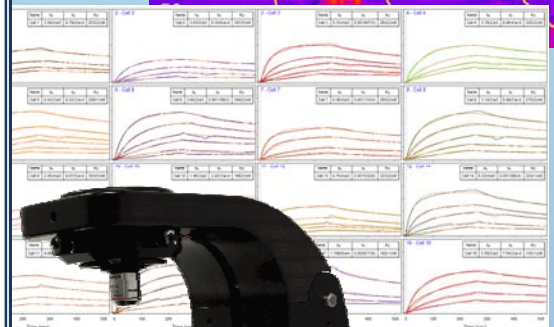
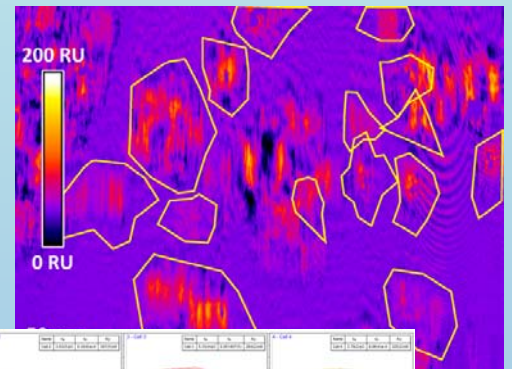
講演内容：

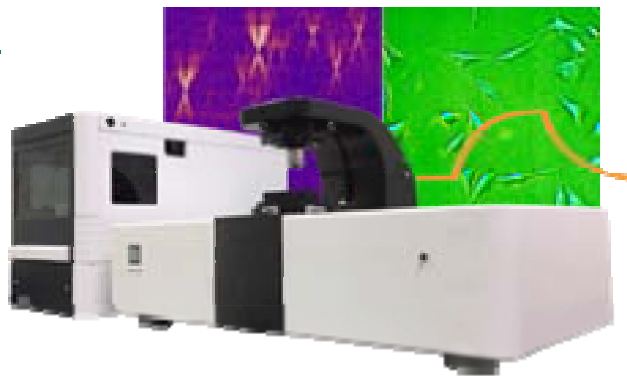
- ▶ システム構成、仕様・機能、特長
- ▶ 二次元SPR計測および解析
- ▶ サンプルの調製
- ▶ アプリケーション事例紹介

◆ 実機操作・個別質問 14:20 - 16:30

センサーチップに固定した細胞標本を使った実機操作（サンプルのセット、SPR計測、データ解析）を行います。

※会場によって開始時間が若干異なります。





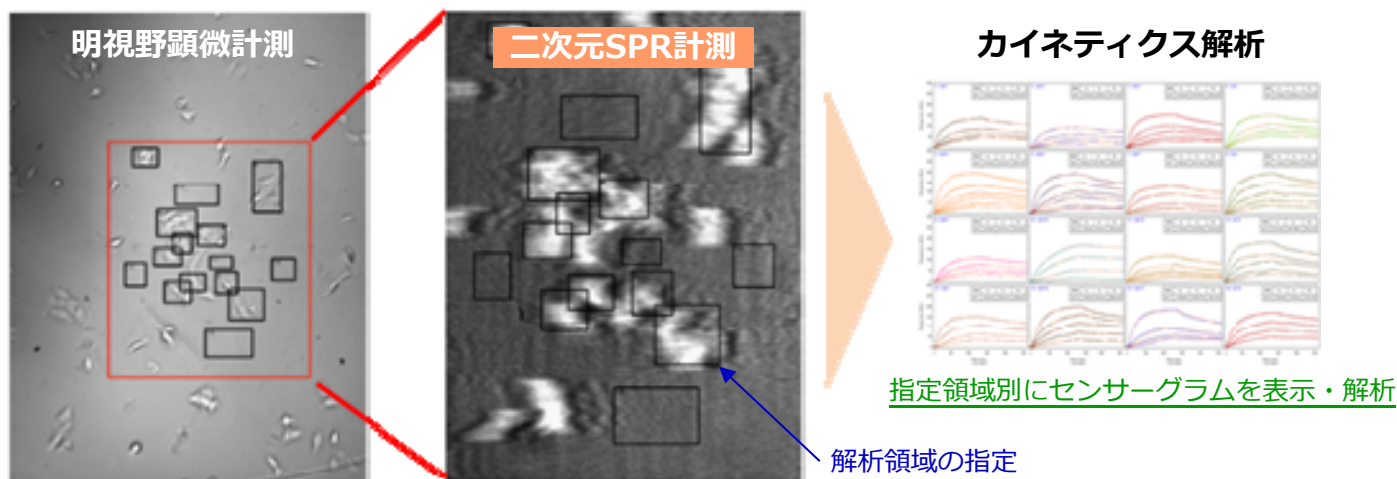
Biosensing Instrument社は、SPRセンサーチップ上で培養した細胞をそのまま固定・固相化して、膜タンパク質リガンドとするSPR分子間相互作用解析を行うことができるSPR顕微鏡システムを開発しました。

従来のSPR分子間相互作用解析システムと異なり、**膜タンパク質を単離・精製することなく**、センサーチップ上で培養・固定した細胞の膜タンパク質をリガンドとするため

膜環境に近いin vitro計測条件で、膜タンパク質-アナライト分子間の分子間相互作用解析を行うことが出来ます。また、**明視野計測画像**を取得することにより、細胞の培養状態（密度、位置）を考慮してSPR計測領域を指定することが出来る他、細胞の形態や細胞上のSPRシグナル局在情報を考慮したカインेटクス解析領域を指定することが出来るなど、細胞生物学の見地を取り入れた分子間相互作用解析を行うことが可能になりました。

ワークショップでは、SPR顕微鏡の開発を担当したBiosensing Instrument社のWin Ly氏をお招きして、SPR顕微鏡について技術・アプリケーションの両面からご講演いただきます。講演の後には、固定細胞標本を用いた実機操作（SPR計測、データ解析）を実施しまして、SPR顕微鏡でどのような計測・解析が出来るようになるのかを具体的にイメージしていただけるプログラムとなっております。

【 SPR顕微鏡システムの計測・解析の流れ 】



ワークショップ 参加申し込み

- ◆ お申込代表者名
- ◆ 参加希望会場
 - [] 2017年5月15日(月) 大阪会場（大阪大学 豊中キャンパス内）
 - [] 2017年5月19日(金) 東京会場（弊社本社ビル）
- ◆ 貴社名/貴学名
- ※ いずれかに○の記入をお願いいたします。会場の変更も承りますのでご連絡願います。
- ◆ 部署名
- ※ 使用する会場の都合により、実施会場が変更になる可能性があります。
- ◆ お電話番号
- ◆ 希望参加人数： 名
- ※ 仮人数可。資料準備のため、人数が増える場合はご連絡をお願いいたします。
- ◆ ご住所
- ◆ ご同行者名：

FAXもしくはメール（連絡先：yuka.nakai@cornes.jp）にてお申し込み頂けます。

コーンズ テクノロジー株式会社
理化学機器営業部

本社
〒105-0014 東京都港区芝3-5-1
TEL 03-5427-7568 FAX 03-5427-7572

大阪営業所
〒550-0005 大阪市西区西本町1-13-40
TEL 06-6532-1012 FAX 06-6532-7749

●本誌の記載内容は予告無く変更する場合がありますので、ご了承ください。